

特集

近森第二分院がチーム医療で取り組んだ

下剤に頼らない排便ケア

排便が3日ないと、イレウスを心配するあまり、下剤を盛ってしまう。下痢なのに下剤を飲まされる患者さんと、排便をめぐる介助が増えて「自分は一体何をやっているのかな」と空しくなる看護師さん、その両者が不幸な状態にあります。近森第二分院では、巨大結腸でラキソベロンを800滴入れても出なかったような患者さんに、チーム医療でかわかり、自然な排便を回復させることに成功しました。医療者が不安、恐れと戦うには、具体的なノウハウが必要です。次号では、「それはどうすればできるのか」を解説していただきます。

取材レポート

サリュ@京都 「売れる、高品質な商品づくりこそが、作り手を輝かせる」

女性だけの就労継続支援B型事業所

特別記事

発達障害なのに、統合失調症と誤診されている可能性がある ◎根来秀樹

現代型うつへの看護

私はこうかかわっている ◎小瀬古伸幸

クレプトマニア(窃盗症)を受け入れている

赤城高原ホスピタル ◎佐々木孝浩

ロックを売りに、地域活動支援センターを

作るぜバイバー ◎Reverb: 林谷啓美

医療保護入院中の患者が犯した

殺人事件の判決 ◎藤野ヤヨイ

連載

師長がゆく。◎東志乃

2ページあげます ◎日精看神奈川県支部さん

編集後記

1月号からの表紙イラストは寺村栄次さん。実はSCOS(スコス)という、本郷三丁目にある輸入文房具専門店の店長さんなんです。かわいい文房具につられてふらりと店内に入った時に、このシュールなイラストに引きつけられてお声を掛けたのがご縁の始まりです。しばらくサムライでいきますので、「サムライ=精神看護」と覚えてください。なぜサムライなの?と思われるかもしれませんが、んー。No reason, SAMURAI is it! / 前号の次号予告に「認知症ケア: ユマニチュード」を記したのですが、現在中心となって取り組んでいらっしゃる先生から、「テレビ、講演などを通して問い合わせ・研修申し込みが殺到し、受け入れキャパを超えているので、ちょっと報道を控えたい」とのご連絡をいただき、弊誌での掲載を延期することになりました(おそらく5月号になります)。すごいですね。私も3回取材しましたが、個人的にほんとに心酔しているケアです。弊誌で紹介する頃には研修体制を整えたいとおっしゃっていますので、お待ちください。前回の米沢は、無事に元気な男の子を出産しました。…石川

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第17巻第1号 2014年1月15日発行(隔月刊) 発行: (株)医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2014, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

『精神看護』編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

デザイン協力: 高見清史 (view from above) 表紙イラスト: 寺村栄次(SCOS) 印刷・製本: (株)アイワード

1部定価: 本体1,200円+税 2014年年間購読料(税込、送料弊社負担、年間6冊) 7,520円(冊子版) / 10,520円(冊子+電子版/個人) / 11,600円(冊子+電子版/共有) / 7,520円(電子版/個人) / 8,600円(電子版/共有)

※上記は2014年3月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です(2014年3月ご購入開始分まで適用)。

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は(株)医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

SCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、

info@copy.or.jp)の許諾を得てください。